

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

社会福祉法人 館邑会 ういず(令和5年2月)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		お子さんの活動を個別と小集団に分けることによって空間の使い方を工夫しています。	小集団活動の場を確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	2	課題作成や環境整備等、効率よく取り組めるよう検討している。	数字的には適切かもしれないが、支援的に人数が足りないと感じることが多くなっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		お子さんの動きの中で不安に感じる場面の情報共有に努めています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			引継ぎ等で目標設定の時間は設けています。全員が参加できる時間内で設けています。	事業所内でPDCAサイクルの流れがより明確になるべきと考えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1	自己評価評価表については、内容をより保護者の方が答えやすいよう検討しています。	保護者の方が回答しやすいアンケートにすることで業務改善につながりやすくなると考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで公表し、ういず便りで公表したことをお伝えしています。	ういず便りでお伝えすることも考ええいますが、検討中です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		数年定期的に同じスタッフにコンサルテーションをお願いしているため、お子さんの成長を確認しながら、指導を受けることが出来ています。	よりカンファレンスの内容を現場に活かす取り組みを行なっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			皆が同じように学ぶことが出来る研修を選び、受けています。	それぞれが自分の専門性を追求できる研修についても考えていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			出来るだけ標準化されたアセスメントを使い、適切なアセスメントになるよう取り組んでいます。	標準化されたアセスメントツールに取り組んでみましたが、そのための研修も必要と感じています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		出来るだけ標準化されたアセスメントを使い、適切なアセスメントになるよう取り組んでいます。	標準化されたアセスメントツールの研修を受けてはいるが、適切に使用することに難しさを感じている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			日々情報の共有に意識を高く持ち支援にあたっているため、立案もスタッフの情報共有が出来ていると思われれます。	時間を有効に使うため、効率の良い情報共有の方法が必要と感じています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			一人ひとりのお子さんの学年も考え、活動を立案しているため、固定化することはありません。	将来の生活に向け何を支援して行くことが必要か、日々検討していきたいと感じています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		長期休みはお子さんのいる時間が長く、準備が充分できないと感じることがあります。	準備時間の工夫が大きな検討課題です。また長期休みはイレギュラーな利用も多いため、急遽の対応が難しくなっています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			近年始めた小集団課題活動が、活動するごとに充実してきています。	今後も小集団活動に関しては、お子さんの成長を考えより充実した内容を検討していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			お子さん達が来園する前に、お子さんスタッフ一人ひとりのスケジュールを提示し、支援内容や役割を確認できるようにしています。	時間を有効に使うため、効率の良い情報共有の方法が必要と感じています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			短時間になってしまうことが多いものの、情報の共有の場として時間の確保をしています。	勤務時間や会議、研修等で、全員集まれない日も少なくないため、共有のための工夫が必要と感じています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		記録シートに短期目標が記入してあり、目標にそった記録が出来るよう取り組んでいます。	記録について、時間内で打ち込みことが難しく、内容もその時の出来事が中心になってしまっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			半年のモニタリングの際、見直しをしえていることが多いが、必要な時は短期間で計画の変更を行っています。	モニタリングの時間を決めて取り組むことで、活動や支援の見直しがいやすくなりました。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を行っているか	4	2		目を通すよう心掛けています。	確認する時間を設けるよう取り組みたい。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者だけでなく、実際現場で多く関わるスタッフも参加するようにしています。	情報の共有を意識し、スタッフ全員が同じように伝えることが出来ることを目指したいと考えます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	3		学校との情報共有については、消極的になってしまいがちであるため、出来るだけ意識を持つようスタッフに伝えていきます。	気になることは、早めに担任の先生に確認をとるよう心掛けていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	今年度は新一年生の利用はなかったものの、ある場合は必要だと感じています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2		今年度必要なお子さんがいらっしゃいますので、情報共有の場を提案させていただきたいと思っております。	わかりやすい情報提供シートの作成をし、お伝えしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	様々な機関の研修の開催には、目を向け参加できるものに参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4		児童館や公園で、地域のお子さんの遊ぶ場面は良くあります。その際は、見守るよう心がけています。	保護者の方にお伝えすることがあまりないので、今後お伝えしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			自立支援協議会児童発達支援部会へは、地域の法人の職員であることを意識しながら参加しています。	法人の事業所ということもあり、自立支援協議会の他の部会の情報も入りやすく、意識しやすい状況です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		お迎えの際には、少しの時間でも保護者の方と情報を共有しています。	送迎の際、お子さんの状況については出来るだけお伝え出来るようにしています。より時間が必要な時には個別に時間をとって頂けるようお願いしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	2	保護者の方が、参加しやすい研修への紹介程度になってしまっています。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			大事なことは個別でお伝えしています。	今後は、特に閉所のこともあるため大切なことは出来るだけ個別に伝えしていきたいと考えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			相談を受けた職員が引継ぎ等で情報を伝え皆で共有してから、保護者の方に助言していくことが多くなっています。	保護者の方が相談しやすい話やすい環境を作ることが大切と感じ取り組んでいきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	3	以前から課題となっているものの、取り組めていない状況です。	学齢の高いお子さんが多いので、以前行った就労事業所の職員の話を聞く時間を再度設けていきたいと考えています。
非常時等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			保護者の方からのご意見を真摯に受け止めていくこと、共有していくことに努めています。	保護者の方の日々の話の中にも、保護者の方のご意見や訴えを感じる場面がありますので、見落としがないよう意識していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		出来る限り日々の支援についてお伝えするういず便利にしたいと思っています。	ういず便利については、以前から比べると、お子さんの日々の情報を増やす内容になってきていますので、今後も出来るだけ作成していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			書類等の扱いはもちろん、掲示物やお便り等個人情報には配慮しています。	秘密保持については、細かい部分の配慮の不足を感じる場合があります。職員の意識の向上に向け取り組みます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			視覚情報を使つての支援に努めていますので、それが配慮となっています。	必要に応じて、個別の時間を設けていただけようようお願いしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4		
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		今年度は法人の看護師からういずの現場での感染症対策について指導を受けました。ういず便りでも保護者の方にお知らせしました。	事業所の職員間での情報共有にとどまってしまうことでもありますので、保護者の方にもお伝えしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年2回の避難訓練の実施をしています。	年2回は避難訓練を行っている。ういず便り他HPでもお伝えしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			毎年職員会議で研修の時間を設けています。法人の委員より情報提供の時間を設けていきます。	日々の支援の中で振り帰る時間を作ることも必要と感じていますので、職員全員が意識できるよう取り組みます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
事 の 対 応	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		法人の方針取り組みを基に行っています。	事業所としてもより深めていきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			日々の中で書き留めていくことが難しくなってきたのが、現状です。書く時間を設けることもあります。	日々の引継ぎの中で確認していくことが難しいため、定期的に確認する日を決めて共有の時間を設けていきます。